

2020年11月

「中部経済新聞」に掲載されました

株式会社シンテックホズミのAISLEは、2020年11月20日に「中部経済新聞」に掲載されました。

AISLE Tower Typeの紫外線照射による除菌機能が紹介されています。

ぜひご覧ください。

台車搬送のタワー型多機能ロボ
深紫外線で空間自動除菌も

シンテックホズミ

サービス市場深耕図る



トヨタ自動車子会社のシンテックホズミ（本社みよし市、加藤久親社長）は、台車搬送などを行うタワー型多機能ロボット「AISLE（アイル）タワータイプ」に深紫外線（UVC波）照射で空間を自動除菌できるパッケージを設定し、2021年1月に発売する。感染症対策で空間除菌のニーズが高まる中、人体に影響が無い波長を活用して有人環境下でも安全かつ衛生的な環境づくりを支援し、ホテルやレストランなどサービス市場の深耕を図る。（岩崎幸一）

新パッケージは、7月に発売した「アイルタワータイプ」に深紫外線照射モジュールを搭載した。従来機能は電磁石による台車連結搬送（最大160kgまで）が主だったが、深紫外線照射モジュールを付けることで、あらかじめ設定した経路を無軌道走行しながら空間除菌を行う。遠隔操作も可能。これまで深紫外線照射によるウイルス不活化や殺菌には254nm波長の紫外線が多く用いられてきたが、皮膚障害などが発生するリスクがあり、使用シーンが無制限空間などにとどまっていた。アイルタワータイプの254nm波長は波長が高い照射量でも皮膚に急性障害が発生しないことが臨床試験で確認されており、人や動物の皮膚、目に優しい殺菌用紫外線光源（同社）という。

発光面の高さは160cm、照射範囲は2m以内。殺菌時間は距離によって異なり、88%殺菌なら1分、97%殺菌なら約4分45秒。2層先が先に約1分10秒、2層先が約4分45秒。97%殺菌なら1層先が約3分30秒、2層先が約1分10秒。有人環境下でも使用可能で、人感センサーの検知範囲（半径約3m）に人が侵入した場合に照射を自動停止する。主にホテルの客室清掃後の仕上げやレストラン、病院、公共施設などの営業時間外での使用を想定しており、衛生的な環境づくりと作業負担の軽減をサポートする。

充電器を含めたパッケージ価格は税別500万円以下にしたいと考えて、他社の手動で用いるタイプよりも高い価格競争力を持たせる。アイルタワータイプは見回りなど追加機能を随時発売する予定で、1台で多彩なニーズに応えるロボットにさらに進化させる構えだ。

◆記事詳細

https://www.chukei-news.co.jp/news/2020/11/20/OK0002011200101_02/

以上